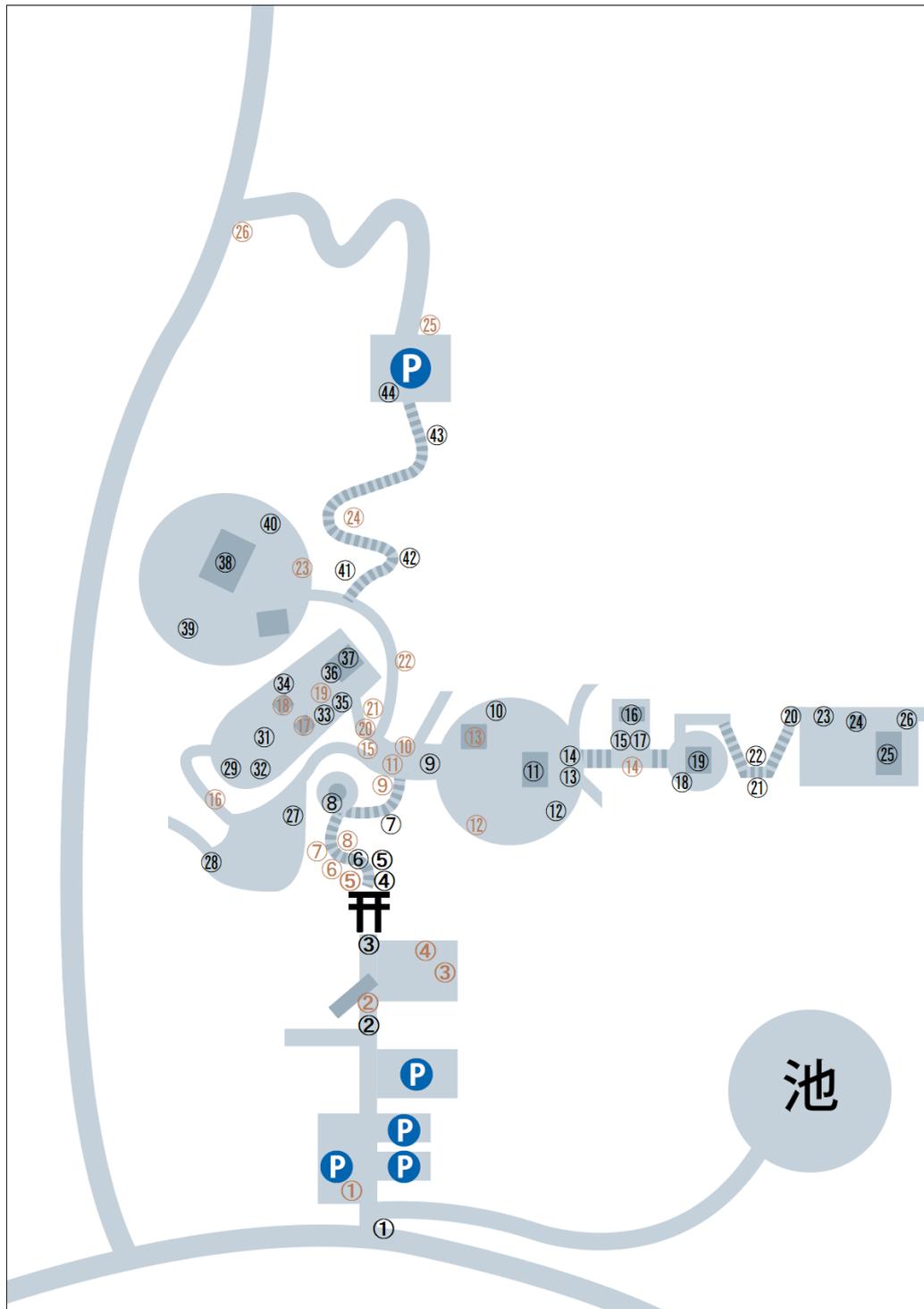


高天神城址 【感謝巡礼案内】

高天神城址について、県外に住む、お城プロRe殿ユーザーの方々が”感謝巡礼”をする際に、参考にしてもらえればと思い作成しました。特別詳しく解説してはおりませんが、地元民の視点で見どころや行き方についてまとめてみました。ぜひ参考にしてみてください。

自分が他県のお城に感謝巡礼した時、こんな紹介サイトがあったらよかったなと思った内容にしています。





①

高天神城『北口駐車場』で『搦手門』



①

駐車場



トイレ有り駐車場



搦手門に近い駐車場





②

搦手門から高天神城に



②

入り口付近に看板があります
期間限定でスタンプラリーやっ
ているそうです



古めの看板もありますがこっち
の方が分かりやすかったりしま
す



スタンプラリーに関しては公式
HPを参照してください





③

入り口直前の広場にあります。
静岡県内の茶業の発展に貢献した
人物の石碑だそうです



④

入り口直前の広場に野鳥の看板が
あります



③

参道を進んでいきます



④

装備品の提供があります
スズメバチや蜘蛛の巣が怖くない
人は装備しなくてもいいと思いま
す





⑤

古めの看板があります。
だいたいデフォルメして描かれてます



⑤

『搦手門』



⑥

搦手門の歴史を解説する看板。
高天神城の北側の入り口に位置する。元亀2年の信玄による高天神城攻めの時には、250人がここを守備したところと伝わっています。



⑥

この参道を登り始めて高天神城感謝巡礼のスタートです。
木に巻いてある警告にはスズメバチに注意と書かれています。





⑦

少し登ったところの左側の断層



⑧

少し登ったところの右側の地面



⑦

『三日月井戸』



⑧金魚が三日月井戸跡にいます。
城内に存在する2つの井戸の内の
1つ。礫層を浸み通り出た雨水が
滴り、この三日月に溜まり池に
なった事からついた名称で、井戸
としても使われた。





⑨

搦手門から登ってきて突き当りです



⑩

ここから左に行くと『三の丸址』
『本丸』
右に行くと『高天神社』 『馬場平』 です



⑪

左側に向かう途中の看板です



左に向かう途中の看板デフォルト版です





⑨

『高天神社』 『馬場平』 のある右側に向かいます。狛犬の様な石碑がありますが、特に何も書かれていません。



⑫

『高天神歌碑』 日本と中国の架け橋となった松本亀次郎氏



⑩

『鐘曲輪（かねぐるわ）』 敵兵が攻めて来た時に鐘や太鼓で知らせた場所



⑬

休憩所





⑪ 『かな井戸 井戸曲輪跡』 井戸曲輪にあり、名前の由来は不明。水が鉄分を含んでいる為では無いかと考えられている。武田軍が城を攻める時に井戸の水脈を絶ったとも考えられていて、今は水が出る事はない。



⑫
『尾白稲荷』



⑬
『高天神城石碑』



⑭
高天神社に向かう階段





⑮

『西の丸跡地』



⑯

『堀切』後ろのあるのは社務所



⑰

『丹波曲輪』



⑭

『日露戦役記念』





⑱

『高天神紀』



⑲『高天神社』高天神社は、城が廃城となるまでの間、高天神城を護る城中守護の神社でした。約290年前に御前曲輪跡から現在の場所に移される事になった。



⑳尾根上を進攻してくる来る敵軍に対し、尾根をv字に切り開いて通行を不可能にする防御施設。平時は丸太など簡易な板で通行し、戦闘時には板を落として遮断する。少し危ないです。



㉑

『堀切』上記順路の中央付近の森側にあります





②②

『切割』上記順路の中央付近の外側にあります



②③ 『馬場平』一説にはここで馬の管理をしていたからこの名称だと言われているが、三方が断崖絶壁で、ここより先は城外であり、全く馬の管理に適していないことから、最初はここに番所が設置されていた説があり、番所が馬場に転じた可能性がある。



②④

『馬場平』見張り番所



②⑤

『勘五郎の抜け道前広場』





⑳『勘五郎の抜け道』馬場平から続く尾根道で険しく、犬やサルでも戻ってきてしまう事から名付けられた。大正九年の落城の際には、横田甚五郎がここから抜け出し甲府の勝頼の元へ落城を報告した事からこう呼ばれている。



⑮

中央(⑨⑩)に戻りそのまま『三の丸址』『本丸』方向に向かいます



㉑

『的場曲輪跡』弓矢などの練習をしていた場所と推定されている



㉒『大河内政局石牟道入り口』山腹に洞窟状に掘った穴で、ここを牢獄とした。徳川の家臣大河内正局が、落城後も勝頼に屈しない為、幽閉されたとしている。本丸東北側、帯曲輪に位置している。(写真の先にあります)





⑩

大河内政局石牢道入り口の右側に上に向かう順路があり『本丸』に向かいます



⑲

『本丸』のある広場



⑳

『土塁堀』順路を登って左側



㉑ 『本丸跡』 『本丸址』 高天神城の本丸と言われている場所。近年の発掘調査で「倉庫跡」と考えられる遺構が発見されている。





③2

『土塁』 広場奥に有り
季節によっては”ひっつき虫”だらけなので注意



①7

『日清戦争顕彰碑』



①8

『陸軍石碑』



③3

『高天神城の模擬天守石碑』





③4

『松幹化石』



③5元は高天神社が存在していたが、八代将軍徳川吉宗時代に、現在の地に遷宮（せんぐう、社本殿の建造運営また修造の際、神社本体を現在と違う本殿に移す事。）された為、元宮とよばれる。



①9

『征清軍凱旋記念碑』



③6

『御前曲輪跡』

高天神戦国ロマンにの里





③7

『三の丸址』



②0

『本丸址入り口』 ④1を曲がらず進むところに行ける



②1

更に①5を曲がらず進むところに行ける。左が『本丸』で右は③7とは違う『三の丸址』



②2

②1を右に行って進むと旧看板がある





③⑧ 『三の丸址』城の南側に着きだした曲輪で眺めがとてもよく、遠州灘まで見渡す事が出来る・小笠原与謝衛門清有りが対象を務めたことから左衛門平とも呼ばれている。



③⑨

『土塁』三の丸址の近く



④⑩

『土塁跡』三の丸址の近く



②③

南口追手門から来た場合の山道





④1

『着倒櫓跡』 武田方が攻めて来た時に鐘を鳴らした場所とされる



④2

『追手門』 入り口看板



②4

町指定天然記念物
『高天神追手門跡スギ』





④3

『高天神城跡』 入り口



④4

南口追手門側から来た場合ここから入ります



②5

南口追手門側駐車場



②6

南口追手門側駐車場入り口

